1　令和９年度　保険税水準の統一について　（Ｒ９市標準保険税率への移行）

資料３

県国保運営方針と　蕨市 の対応状況について

運営方針の項目	目標年次	R8以前	8月運協①	10月運協②	11月運協③	12月運協④	2月運協⑤
				諮問	審議	答申	
① 口座振替の原則化	R11	R5 完了					
② 賦課方式の所得割・均等割の2方式化	R8	R8 完了					
③ 赤字の解消	R8		提示	諮問	▶	答申	必要に応じて改正案
④ R9市標準税率への移行	R9		提示	諮問	▶	答申	必要に応じて改正案
⑤ 県内統一基準の条例減免に改正	R9				提示	▶	必要に応じて改正案
⑥ 課税限度額を政令同額へ（専決処分）	R9						▶
⑦ 保健事業の見直し	R9			諮問	▶	答申	必要に応じて改正案

2　令和９年度保険税水準が“準統一”になったら蕨市国保はどう変わる？

※子ども分は除く

①

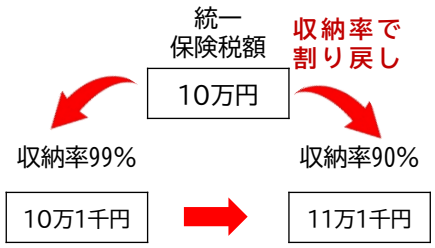
✕ 収納率格差を反映した統一です

収納率格差の反映とは？

・統一保険税ベースに、各市町村の収納率格差を反映した保険税率を設定

・各市町村によって異なる保険税率となる

【収納率格差を反映したイメージ】



収納率が低い自治体ほど、税率が高くなる
（※過年度収納額により変動あり）

順位		R8標準的収納率
63位	草加市	91.76%
62位	戸田市	92.21%
61位	越谷市	92.33%
60位	蕨市	92.34%
59位	川口市	92.53%

②

※Ｒ９市標準保険税率はＲ７．７．18に県より提供された推計数値を使用

✕ 県内で高水準になります

・収納率が納付金に反映された結果、蕨市の保険税率は県内でも高水準になる予定

・高い税率を設定された市町村の収納率が低下するとさらに高い税率設定となる

【Ｒ９標準税率推計値の高い順】

順位		所得割	均等割
1位	A市	15.86%	91,523円
2位	B市	15.78%	91,052円
3位	C市	15.77%	90,997円
4位	D市	15.72%	90,712円
5位	E市	15.69%	90,554円
6位	F市	15.67%	90,426円
7位	G市	15.66%	90,340円
8位	H市	15.62%	90,136円
9位	I市	15.56%	89,755円
10位	J町	15.55%	89,720円
11位	蕨市	15.55%	89,694円

③

○ 交付金を獲得できます

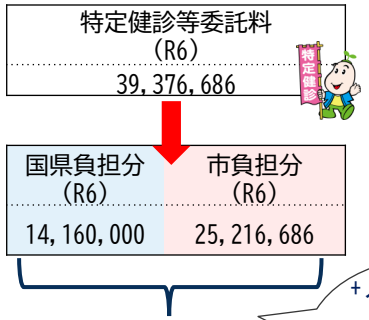
準統一達成市町村にインセンティブを交付

①達成市町村に対し県2号繰入金から一定額を交付し、達成市町村の標準保険税率を引き下げる
②特定健診等の国庫負担対象額の全額措置
③保険者努力支援の加点　など

①県２号繰入金の交付

約22億（見込）　×　蕨市の保険税必要総額 / 達成市町村の保険税必要総額

②特定健診等の保険者負担額を全額措置（普通交付金）



③保険者努力支援の加点

+人間ドック補助金（特定健診分）全額
※未達成1/2

赤字解消 +６０点 ⟷ 赤字増 −４０点

④

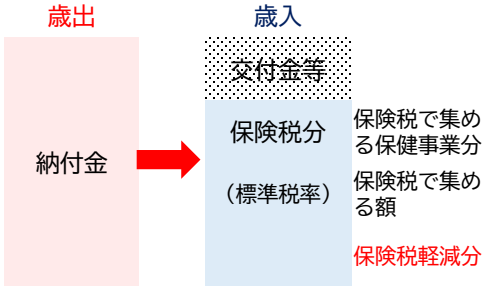
△ 赤字を解消できます

標準保険税率とは？

県から市町村に対して算定する「事業費納付金を賄える」保険税率

↓

赤字解消



▸標準税率にしても赤字になる可能性？

大阪府

R5完全統一：13市町村

（単年度収支）
赤字：37市町村
黒字：6市町村

→ 納付金補正の仕組みを導入予定（埼玉県方式）